

# 不撓不屈

ふとうふくつ

## 共感した人材

金属ヒーターの製造を手がけるヤマト（大阪市平野区）の本社工場では、いつも笑い声が響く。「今日は元気やな。良いことあったん」「髪形変えたん」などと、社長（辻井竜夫）は明るく社員に話しかける。社員の平均年齢は40代前半。製造業では若い方だ。

現在ヤマトで働く社員は全員、辻井がヤマトに入社して、自ら採用した

## ヤマト

②

### 父との衝突

顔ぶれ。「企業は人な時に布団をきれいに畳んだり」の考えのもと、会社で、水回りをきれいにし

の理念に共感した人物を採用した。

平日は仕事、休日は起業セミナーに参加して、情報交換と人脈作りに努めたサラリーマン時代。

辻井はヤマトに入社する前は「休む間もなかつた」と振り返る。

### ビジョン確立

ちょうどその頃、辻井はある経営者のカバン持ちをしたことがあるという。出張について行き、その経営者から「経営者になるのが目的なら家自ら「チェックアウトの薬を継ぐ」とも考えて

## 「企業は人なり」理念に採用

は」と助言を受けたことと、社内の状況に驚きもなく、離職率も高かった。もあり、ヤマトへの入社隠せなかった。「職人の目にも刺さらない、経営状況は危機」。入社当時、龍夫と、長い営業経験に

た。しかしいざ入社する

の状況をこう振り返る。

より人とのつながりが大

た。加えて技術力の図面化にも着手。ただ「昔ながらの職人に対し、まだ若かった自分がそのまま頼んだら角が立つ」。そこで「品質管理・保証の国際規格、ISO9001

「赤字じゃなければ、切と考えていた辻井は、人々は必要衝突が絶えなかった。

なときに雇えばいい」という、

### ISO取得

その場しのぎの、辻井はヤマトでは営業経営で「人を大担当で入社したが、人事切にしている採用も兼任していた。自「と感したとら面接官となり「製造サいう。会社として「ビジネス」という理念にのビジョンも共感する人物を採用した。父の龍夫（右）とカラオケを楽しむ辻井。現在の関係は良好だ



（敬称略）